

2022年9月2日

糸長浩司

NPO 法人エコロジー・アーキスケープ (EAS) 理事長

飯豊町立 いいで農村未来研究所 所長

飯豊町 2022 年 8 月集中豪雨災害緊急支援と調査の報告

2022年8月3日から線状降水帯による集中豪雨による山形県飯豊町では甚大な被害に際して、多くの皆様からの支援金をいただき、深く感謝申し上げます。8月5日に、EASとして支援金をお願いいたしましたが、皆様のご支援により、8月27日時点で総額、42,0000円となりました。

災害復興支援のため、及び被災状況、災害状況の調査のために、9月2日に飯豊町の被災地及び飯豊町役場を訪れました。後藤幸平町長に支援金をお渡しし、今後の復旧・復興活動のためにご使用いただけるようお願い申しあげました。大変、感謝していただきました。副町長、企画課長や企画課の皆さんを交えて、被災状況とその要因、今後の飯豊町らしい住民、地区参加での復興や防災・減災・自然の再生施策の在り方や、いいで農村未来研究所での支援研究の在り方についても討議いたしました。

当日は、午後から企画課の後藤洋さん、川村俊貴さんの案内で被災のひどかった小白川地区（小白川流域）および萩生地区（萩生川流域）を主に調査しました。小白川下流域では大巻橋の崩落で行方不明の人の捜索が進められていました。



飯豊町後藤幸平町長に支援金をお渡しました

別紙は、当日、撮影した被災地の厳しい状況です。私が把握した被災状況の概要は下記です。

- ・濁流と流木によると思われる、橋の崩落と鉄橋の崩落（小白川の蛇行によると推察）
- ・小白川、萩生川の二級河川の上流部での樹皮の剥げた流木の集積
- ・河川氾濫による土砂及び流木が堆積した水田、そば畑、アスパラ畑
- ・橋の欄干に大きな流木や樹木の堆積、それによる橋の破壊や土砂の流出
- ・河川沿いの土手及び水田の畔の崩落による水田の一部崩壊
- ・河川沿いの宅地の崩落と建物の全壊（2か所のみ）
- ・鉄道線路への流木の堆積（河川からの洪水によるものか）
- ・農業用排水路からの雨水の氾濫と集中豪雨による広範囲における住宅や公共施設での床上浸水
- ・床上浸水等による被害住宅での片付けはボランティアの協力もあり、町が用意した廃棄物集積場に集められ、分別、排出が進められている。
- ・今後は、土砂や流木の堆積している水田の復旧、状況が十分に把握できていない、河川上流部の森林状況の調査と今後の対策が必要

飯豊町は住民と行政での協働による先駆的なまちづくりを進めてきた農村地域であり、今後の復興に際しても、住民と行政の協力により散居景観や森林の保全と育成に力をいれ、自然と農と人々が共生しつづける町として再生していくことを祈念し、そのために継続的な支援を続けていきたいと思う、

★ 被災状況 2022年9月2日撮影（糸長浩司）、ドローン写真は飯豊町役場企画課川村俊貴さん。



小白川の洪水で崩落した大巻橋周辺 ドローン撮影 川村俊貴 20220831



崩落した小白川の大巻橋



崩落した小白川に架かる米坂線の鉄橋



小白川と白川の合流地点の白川左岸の水田内の流木



小白川の上流部の河川沿い水田の土砂堆積



小白川上流部の一部崩落と流木堆積



小白川上流部の欄干に突き刺す流木



萩生川沿いの住宅の全壊



萩生川上流の河川沿いの畔が崩落した水田



萩生川上流の河川砂止めテトラの崩壊と流木



萩生川上流の崩落した水田



萩生川上流の崩落した橋と上流の流木堆積



萩生川下流の河川沿いの水田の土砂と流木堆積